



善正寺だより

〒:512-0902
 三重県四日市市
 小杉町1014
 浄土真宗
 本願寺派
 善正寺
 ☎:059-331-1670
 fax:059-332-0733

揭示板法話

因縁因果の道理を我が事と聞き

お念仏申しましょう

花が咲き、コロナの第六波が一応、沈静化の方向に向かっています。だが、ロシアがウクライナに侵攻し、残虐な侵略戦争が起りました。

第二次世界大戦以降も、世界で紛争が絶えず、国際的な平和維持のための国連がこの卑劣な行為の前に無力な状況なのも情けないことです。だが、武力でウクライナを攻撃し、支配しようとしても泥沼化するばかりで完全に支配し続けられるとは限りません。経済制裁の影響がロシア国民の生活を苦しめ、プーチン大統領がいつまでも戦争を続けることはできない。独裁的侵略者の末路を早く見てみたいものです。

人間の世界の愚かさ、悲しさは今に始まったことではありません。お釈迦さまの時代にもありました。「仏説観無量寿経」の説かれる契機となった王舎城の悲劇です。

王舎城の頻婆娑羅王と韋提希夫人は世継ぎの子供を欲しいと願い、占ってもらったら、「近くの岩山に住む仙人が死ねば王子として生まれ変わるだろう」と言う。だが、王は仙人の死を待ち



切れずに仙人を殺害、まもなく夫人は身ごもった。ところが、「生まれてくる子は仙人の恨みのために、両親に仇をなすに違いない」と言う人があった。そこで夫人は胎児を流産しようとする高い所から身を投げたが失敗し、王子・アジャセが生まれ、足指の傷が残っていた。成長したアジャセにその出生の秘密を告げ口し、王位を奪うようそのおかしなのが釈尊の従弟・提婆達多である。それを知ったアジャセ王子は怒り、父王を捕らえて牢獄に幽閉し、父の死を待つが中々父は死ななかつた。アジャセが牢獄にその訳を尋ねると、夫人が牢獄を訪れて食べ物や水を差し入れている、と言う。アジャセは怒り、母・韋提希夫人を殺害しようとしたが、侍医に諫められ、母を牢獄に幽閉した。

王宮の奥深くに閉じ込められた韋提希夫人が救いを求めようと願うと、釈尊が牢獄の夫人の前に現れました。夫人はアジャセのような悪い子を産んだ宿業の深さを嘆き、「悪と穢れと苦しみに満ちたこの世が嫌になりました。浄らかな阿弥陀仏の世界に生まれたい。

その方法を教えてください」と嘆願し、極悪の衆生が極楽世界に生まれる方法は様々あるが最も大切なことはお念仏を喜ぶ身になることだ、と説かれました。これが「仏説観無量寿経」です。父母亡き後、アジャセは自らの悪を悔い改め、仏弟子になりました。

王も夫人も子供が欲しい余り、仙人を殺害し、更に仇敵になると聞いた我が子の殺害すら思い立つという罪悪に中々気づくことができず、泣きわめきました。現代にも似たような事件は一杯起きています。因縁因果の道理を我が事と聞き、お念仏申しましょう。



☆ 写真アラカルト ☆

懐かしい三重組コーラス写真 H16~H22頃、若かった!



☆行事ご案内☆

◇初参式・降誕会(ごうたんえ)

4月16日(土)午後1時



講師:加藤幸子先生 主催:三全仏教婦人会

※初参式の赤ちゃん幼児を大募集! 参加費千円

4月の門信徒会例会

4月17日(日)午前8時半



新旧行事さんお集まり下さい、新行事長・新会計選出

一縁会テレホン法話:いつでも3分で聞ける法話

TEL 059-354-1454へお電話下さい

三重組5か寺が週替りで担当、19冊目の

新刊本「あみだ様のおはからい」好評発売中

キッズサンガ夕方5時の鐘撞き誰でもOK年中無休

ご褒美はガムとチョコ、合掌出来る子に育てよう

善正寺HP「三重善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧、

毎日更新ブログ住職と坊守のつれづれ日記大好評!

開設13年8カ月で37万3千訪問、お悩み相談歓迎、

新納骨堂後継者のない方お墓でお困りの方相談下さい

法事場所法事場所でお困りの方、本堂使用可ご相談を

4/27三重組連研オンライン講習会場の一つに善正寺が

選出、1月2月は中止。3/27は未定、コロナ状況次第

坊守スケッチ 後悔しない生前整理



豊かな時代に育った私達は、おカネさえ出せば何でもすぐに手に入るが、戦争を経験した大家族の親世代は、苦勞して手に入れたので、生涯大事に使い、家族と分かち合いたいと思う。その価値観のズレで時々衝突が起こる。例えば「親が死んでもお墓と仏壇は継承したくないが、遺産だけは相続したい」という子供世代が結構いる。子供は遠くに別居し、親も施設に入っているのも何とも言えない。代々の先祖が大切に守り伝えた墓や仏壇でさえも、平気で捨てられる。

如何に親から子へと、大切な仏様の教えが伝わっていないか、寺として無力であったかを痛感する。

ところで子供世代には、ゴミ同然に見えるものでも、老親にとっては生きた証、貴重な思い出に繋がる。親が貧しかった時代にお金を貯めてやっとな手に入れた着物や宝石を、子供は断捨離と称していとも簡単に捨てる。

私も一人暮らしの母親を介護していた時代、家の片付けで何度か衝突した。高齢の母には片付けられる体力も気力も無かった。しかしそれ以上に、夫々のモノに自分なりの愛着や思い入れがあった。私が次々にゴミ袋に入れていくと、母は目を離した隙にゴミ袋の中から自分の大切な品を取り出してどこかへ隠した。スッタモンダした挙

句の果て中々片付けは進まなかった。今頃になって私はやつと気付いた。母は思い入れの多い品物と別れるのは、自分の人生の思い出を全て消し去るのと同じこと。喜びも悲しみも全て詰まった思い出の品を、子供の立場で判断をした自分の愚かさを反省する。

モノが豊かで平和な時代ならば、自己判断で生きていけるが、予期せぬ戦争やコロナ禍に直面すると、慌てふためき不安な日々を過ごすさなければならぬ。そんな時親の教えが生きて！親が苦勞して築き上げたモノはゴミではない。最後の生きる拠り所となる親が子を想う心や家族の絆までも、決して失いたくない。親の生前整理は、親子相談の上、親の心を尊重したい。

お悔み申し上げます

★服部典保様(2月21日往生、83歳、生桑町)

カンパありがとうございます

匿名様他ありがとうございます。

赤ちゃん・幼児大募集
4月16日(土)1時「初参式」を受ける赤ちゃんと幼児大募集千円。

お知らせ

※4月17日(日)午前8時半の例会は、新旧の行事さんご出席下さい。特に新年度行事さんは、新役員を決めますのでよろしく願います。

若坊守の子育て日記No.88

三月初旬、私の父方の祖母が往生しました。九十六歳でした。祖母は晩年の数年を老人施設で過ごしました。入所前は不安定な症状があり、顔と名前は理解しても、実家に帰ってくるはずのない私の帰宅を待っていたそうです。また親戚からは「あんたが一番可愛がってもらったな」と思いがけず言われ、そうなのかな？確かにそうだと今更に納得しました。

祖母は洋裁が得意で小さな婦人服店を営み、私にも沢山の服を作ってくれました。幼い頃はワンピースを作ってくれて、祖母に採寸されるのが好きでした。また兄と明治村やお城へ連れて行ってもらいました。私が大人になっても、顔を出すと小遣いをこっそりポケットに押し込んでくれました。

あの大らかで優しい祖母が亡くなったことを実感できぬまま、葬儀が終わりました。最後の方は会う機会が少なく、それが現実味を帯びない理由かもしれませぬ。寂しくなるのはこれからでしょう。祖母からもらった愛情を、次は誰かに注いでいきたいと思えます。



俳壇

雪の朝ひとかたまりや元氣声 釋妙水
老松や七里の渡し冬日向
童の笑顔浮べて雛を描きけり 釋樂邦
カレンダー空白のまま二月尽
真青なる天に届けと木々芽吹く
囀りや影揺り残し枝移り
寒牡丹葉の囲いで紅ほのか 釋住安
八十路過ぎ孫に褒められ味噌作り
交差点ボンボン踊る霰かな
安穩の国旗青空遠い国 釋惠正
飛び梅や咲いて届けよウクライナ
潜ってはまた潜るヒナ水温む TS
春の芽を秘密の場所にまた見つけ
早起きの鳥囀くや春めきて 釋清風
孫つくるチヨコ頬張るや春隣
鶯の姿はなくも初音かな
遺言の歌声あおき春の星 釋秀龍
鳩の巢はソーラーパネル春夕焼
春空や先生の手の赤インク

☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」340号をお届けします。◇コロナの第六波が漸く下火になり始めた頃、ロシアのウクライナ侵攻が勃発。ウクライナでの破壊、殺傷、避難民の惨状に涙と怒りを禁じえない。偽情報の自作自演で侵攻の口実を作り、原発をも制圧、殺戮の限りを尽くす暴君を誰も止められないのか？
◇人間社会の恐ろしさ、罪深さを改めて知らされる。◇コロナ禍はいつ終息するのか不明で仏縁疎かになりがちなご時世ではあるが、努めて仏縁を求め、互いに限りある命大切に。合掌。

先月号でも紹介した「自宅葬」に各地より反響を頂きました。
故人の生声で「千の風になつて」を歌いおれの言葉集までテ
アに吹込み出棺の時に流すとは感動的。私にギタールとマン
ドリン伴奏を依頼されたのが20年前。目的も知らされず。自分
の葬儀で使われるとは驚きでした。さすがお念仏薫る家
庭に嫁ぎ、ご主人を若くして送り、お孫さんをギブスサカに
通わせて後生の一大事の覚悟が早くできたからでしょう。
「我が家もお仏壇があるから自宅葬ができればいいか？」
「お通夜も本来の夜伽になつたわね」「近所の年寄りも遠
い会場へ出向かず軒先から見送りが出来て良かった。この
感想が寄せられました。何より故人の遺志に沿って
自宅葬を遂行された息子さん。夫婦の勇断に敬意を表
します。おカネと便利さを優先する時代にあつても故人
の望みを叶えられたことに共感します。ところでコロナ禍で
私達の生活様式は一変しました。今まで対面一辺倒だった
集まりや仕事がオンラインに代行。人の温もりを感じられ
ません。が時間とおカネの節約になります。空いた時間を忙
しさに失っていた家族の絆を深める時間にしたと思いま
す。遠方の仲間とも容易にながて意外な喜びが生ま
れます。ロシアとウクライナの戦争は、対岸の火事ではあり
ません。地球は一つの運命体。戦禍で失った命や犠牲
はやがて私達にも影響を及ぼします。一日も早く平和が訪れること
を願っています。4月16日初参式の赤ちゃんを募集中です。
安心してお参りできますように。合掌

令和四月四月

善正寺坊守拝